



ちろりん村



昼は定食、夜は居酒屋として営業。日替わり定食はメニュー豊富で選ぶのに迷ってしまう。おかみさんが作る手料理を求めて昼も夜も地元のお客さんで賑わっている。



写真は日替わりのカキフライ定食。衣サクサクで牡蠣の旨味が口いっぱい広がる。



谷宗惣菜店



映画にも登場する姉妹で営む惣菜店。この道60年、88歳のお姉さんが作る惣菜は毎朝3時頃から仕込みを開始し、ケースには常備20種類以上の惣菜が並ぶ。



デバ地下においてある惣菜より安く美味しく!これぞおふくろの味。おススメです!



awamachi発掘

円光寺

お散歩



北陸新幹線開通で、年々観光客が増加している金沢。awamachiでは地元目線で金沢のいろんなスポットを紹介していきます。準備号は円光寺周辺地域です。

映画のロケ地にもなった懐かしい昭和の香り漂う商店街。

金沢市南部、泉が丘通り沿いにある住宅街が「円光寺」。

この街の歴史は古く、昭和32年という早い時期から宅地化が進み、いまでは下町の風情さえ漂う街となっている。

昭和30年代当時はこのあたりが金沢市のベッドタウンとしては南端だったものと思われるが、その後高度経済成長とともに住宅地は南へ南へのび、高尾台や額住宅、光が丘といった住宅地が形作られていった。

映画「ママ、ごほんまだ?」の金沢市内のロケ地として

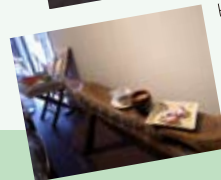
円光寺商店街が映画に登場します。主人公・青妙(木南晴夏)が、歌手で妹の青窈(藤本泉)と、母のかず枝(河合美智子)と父親のルーツをたどる物語です。

円光寺商店街で今も営みを続けるお店は、子供の頃に祖母に作ってもらったおはぎのように美味しく、優しさに溢れています。



Bianglalah (ビアンララ)

現地で仕入れたバリ雑貨とハンドメイドで作る工艺品を取り扱う。髪留めや、食器など普段使いに使えるアイテムも豊富。



ビアンララはインドネシア語で「虹」。日本との架け橋にとの想いが込められている。

